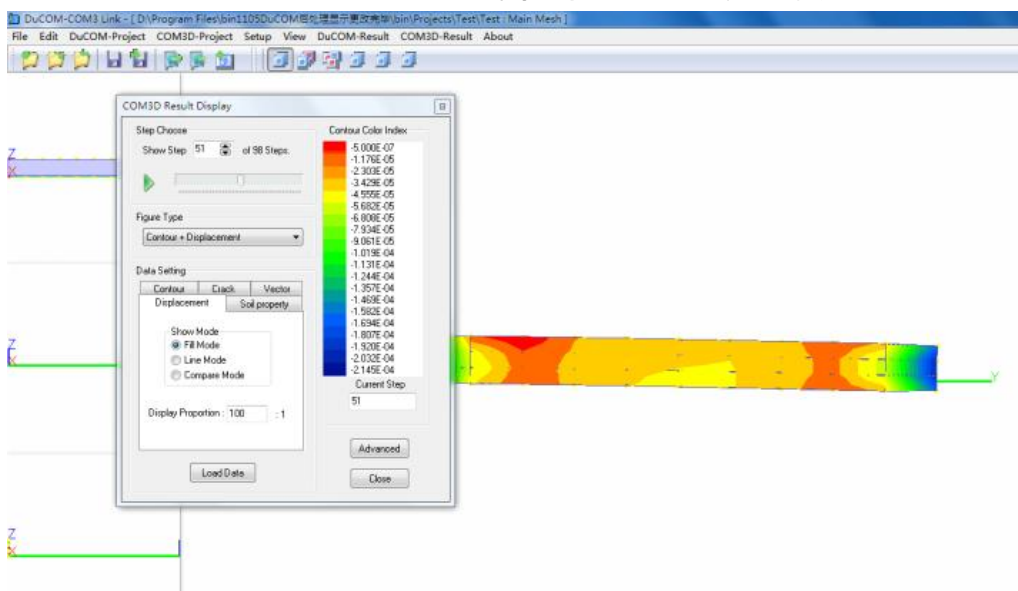


# LINK3D2011

## Program for Nonlinear Analysis of 3D RC Structures

鉄筋コンクリート構造物では、微細空間で展開される材料組織形成、水分平衡・離脱、水和反応プロセスと、内部応力発生、変形、破壊進展等の機械特性を直に連成させて、材料・構造の力学特性を予測する体系の構築を目指している。巨視的に観察される時間依存変形・破壊現象を、材料内部の熱力学状態量と直結させて評価するものである。極低温から沸点近傍の温度範囲下のもと、オンゲストローム～マイクロメートルにまたがって分布する空隙中の水分凝縮、吸着、半結晶水の脱着と、液相-気相-氷相の3相平衡・移動現象をモデル化し、各々の特性に起因する力学的挙動を数量化することで、凍結融解作用下での部材損傷、若材齢ならびに硬化無機材料の収縮・クリープ現象の予測を試みている。これらの挙動を再現するために開発されたCOM3D-LINKが非線形力学解析COM3Dと材料解析DuCOMを一体化にした連成解析プログラムである。

\* LINKソルバーが東京大学コンクリート研究室で開発されたプログラムです。



### 販売価額

- ¥5,980,000 (税込み)
- 二年目から年間保守料金 ¥298,000 (税込み)
- 教育機関50% 割引
- 既存COM3Dユーザーに追加料金 ¥2,000,000 (税込み) で販売する